

取込・定型資料作成等システムを稼働させるソフトウェアの仕様を以下に示す。

- ・全てのソフトウェアについて、取込・定型資料作成等システム用機器を調達する際に特定の製品に限定されないよう、複数の製品上での稼働実績があること。
- ・全てのソフトウェアについて、運用・保守や制度改正等に伴うシステム改修を行う際、実施業者が1社に限定されるものではないこと。

No.	ソフトウェア		導入するサーバ名					仕様	
	カテゴリ	名称	DB	運用管理	セキュリティ管理	運用端末	クライアント		
1	OS	OS	○					DBサーバを拡張し、SMP構成（プロセッサ数8基必要）とした場合にも対応可能なOS。	
2				○	○			ドメイン管理が可能なOS。	
3							○		ドメイン管理が可能なOS。
4	データベース	DBMS	○					<ul style="list-style-type: none"> ・本仕様書「5.2規模・性能要件」で示す規模の稼働実績を有すること。 ・DBMSは今後、分析機能を追加する際にBI（Business Intelligence）ツールを導入する可能性があることから、複数のBIツールに対応可能であること。 	
5	運用基盤	稼働状況管理	○	○	○			稼働管理、閾値管理、サービス稼働管理、サービス管理、障害管理、DB稼働監視（DBサーバのみ）ができるソフトウェア。	
6		JOB管理 ソフトウェア配布管理		○			○	JOB管理、電源管理、ネットワーク管理、ログ監査、ソフトウェア配布管理ができるソフトウェア。	
7		ログ監査 電源管理 ネットワーク管理	○		○			JOB管理、電源管理、ネットワーク管理、ソフトウェア配布管理ができるソフトウェア。	
8						○		JOB管理、電源管理、ソフトウェア配布管理ができるソフトウェア。	
9		転送管理	○	○	○			ファイル転送等の転送管理ができるソフトウェア。	
10		ウイルス対策		○	○	○			サーバ側に導入するウイルスチェックソフトウェア。
11							○		端末側に導入するウイルスチェックソフトウェア。
12		バックアップ管理	○	○	○			LT0 Ultirium4に対応しており、データベースを停止せずにバックアップを行うことができるバックアップ管理ソフトウェア。	
13		通信制御						○	ファイアウォール、侵入防止（IDS/IPS）、アンチウイルス、Web アプリケーション・ファイアウォール、および IPSec および SSL VPN 機能を統合し、全ての機能の管理ができるソフトウェア。